

町田市教育委員会第4回定例会

日 時 2019年7月5日(金) 午前10時

場 所 第2、3、4、5会議室

議 題

1. 月間活動報告

2. 議案審議事項

請 願 第2号 2020年度使用の小学校教科書採択に関する請願
議案第17号 第18期町田市立図書館協議会委員の委嘱について

3. 臨時代理報告

臨時代理報告第4号 町田市立小学校教科用図書調査協議会委員の委嘱及び解任について

4. 報告事項

- (1) 中学校給食無料試食会事業について 《保健給食課》
- (2) 自由民権資料館2019年度特別展「町田の近代と青年」の開催について
《生涯学習総務課》
- (3) 「平和祈念事業」の開催について 《生涯学習センター》
- (4) 「POPコンテストまちだ 2019」の開催について 《図書館》
- (5) 大日本タイポ組合展「文ッ字ーいつもの文字もちょッと違って見えるかもー」
の実施報告について 《図書館》

主 な 活 動 状 況

2019.6.3～2019.7.4

期日			活動内容	坂 本 教 育 長	後 藤 委 員	森 山 委 員	八 並 委 員	坂 上 委 員
月	日	曜						
6	3	月	教育委員会第3回定例会	○	○		○	○
	6	木	市議会本会議(提案理由説明)	○				
	8	土	障がい者青年学級開級式(土曜学級)(生涯学習センター)					○
			中学校体育祭		○			
	9	日	障がい者青年学級開級式(ひかり学級)(ひかり療育園)		○			
	11	火	市議会本会議(一般質問)6/11～14・17	○				
	15	土	道徳授業地区公開講座(山崎小学校)				○	
	16	日	『町田市立博物館最終展』クロージング&テイクオフ・イベント(町田市立博物館)	○				
	17	月	東京都立町田高等学校 学校運営連絡協議会(町田高等学校)				○	
	18	火	市議会本会議(質疑)	○				
	20	木	定例校長会	○				
			中学校学校経営研修会		○			
	22	土	道徳授業地区公開講座(南第四小学校)				○	
	28	金	本会議(表決)	○				
30	日	第40回町田市消防団ポンプ操法大会(町田消防署)	○					
7	1	月	市教委訪問(大蔵小学校)	○			○	○
	2	火	町田市生活安全協議会	○				
	3	水	市教委訪問(木曽中学校)	○	○	○		
	4	木	校長役員連絡会	○				

2019年7月25日
6 25

2020年度使用の小学校教科書採択に関する請願

町田市教育委員会教育長様

住所

連絡先

氏名

(請願の要旨)

- 1 町田市教育委員会の責任において、2020年度使用の小学校教科書について「主体的・対話的で深い」検討を加え、町田市小学生に及ぼす重大な問題点を明らかにするよう求めます。
- 2 教科書採択の現行制度を改め、既に国際標準とされているように、教員による採択制度とするよう文部科学省、東京都教育委員会に申し入れるよう求めます。
- 3 当面する採択においては、教員の意見を最大限尊重することを求めます。その際、教員の意見表明に対して「批判的記述の禁止」など制約をしないよう求めます。又、勤務時間内で調査できるように保障するよう求めます。
- 4 採択の投票については、無記名とせず各委員の責任を明確にし、記名投票することを求めます。

(請願理由)

- 1 2020年度使用の小学校教科書は、日本国憲法から逸脱する重大な問題が見られます。教育出版6年社会で「憲法改正の論議」として明らかに誘導的な、現政権が主張するような説明文が載っており、児童が誤解するおそれがあります。又、東京書籍6年社会では「新聞を読もう」のテーマなのに取り立てて、安倍首相が「改憲呼びかけ」という記事がトップに載っています。学習指導要領ですら改憲には触れていないのにです。この間の安倍政権が、安保法制(戦争法)の閣議決定から強行可決まで、憲法第10章「最高法規」第99条「天皇又は摂政及び国務大臣、国会議員、裁判官その他の公務員は、この憲法を尊重し擁護する義務を負ふ」を全く無視し、憲法を守る義務のある首相が改憲の旗を振るという違憲状態が続いています。

この他、廣済堂あかつき5年道徳「身近にある法やきまり」は、憲法の核心である基本的人権を全面的に捻じ曲げて押し付けています。各社の社会5、6年「領土問題」は検定によって断定的、排他的、攻撃的で危険な内容になっています。東京書籍6年社会「平和主義」は集団の自衛権を示唆する表現です。こうして憲法の理念に反する、政権の見解の数々を押し付けています。

1976年学力テスト事件最高裁判決は以下のように指摘します。「本来人間の内面的価値に関する文化的な営みとして党派的な政治的観念や利害によって支配されるべきで

ない教育にそのような政治的影響が深く入り込む危険があることを考えるときは、教育内容に対する右のごとき国家的介入についてはできるだけ抑制的であることが要請される」

当然、文部科学省も町田市教育委員会も憲法擁護の義務を負うのですから、こうした逸脱偏向について、検定に合格しているとの理由で検討を放棄することは、町田市の小学生に対する責務として許されないのではないのでしょうか。最早、選択という結果だけを任務とするだけでは済まされない現状を認識し、勇気をもって「主体的・対話的で深い」審議をされるよう求めます。

又、各社とも授業の展開について、話し合ひましょう、パネルディスカッション、演じましょう、表彰状を贈りましょう、など詳細具体的に指示しています。授業ではどういう問い掛けをするかは根本的な課題で、教員の力量の見せどころです。アクティブラーニングという教育方法の一律の押し付けは授業の工夫を衰退させ、教員の「主体的・対話的で深い」研究をかえって阻害するのではないかと危惧します。

- 2 教科書の内容が政権に付度するものに変化して来たのは、教育現場、つまり教員の意見が出版社に届かなくなったことが一つの要因でしょう。既に1966年、ILO・ユネスコは「教員の地位に関する勧告」で「教員は教材選択と採用、教科書の選択、教育方法の採用などについて主要な役割が与えられるべきである」と述べています。
- 3 いわゆる「つくる会」「日本会議」「教育再生機構」によって作られた、憲法から逸脱する教科書への批判を回避するために、教員の評価に対し「批判的意見ではなく、良い所を書く」との制約がされました。教科書の評価という複雑で専門的な検討に対して機械的、画一的な枠をはめるなど論外です。自由記述とすべきです。
- 4、 教育委員は、議会で承認されたれっきとした公人であり報酬も税金です。責務を自覚し遂行しているのですから自らの判断は、しっかりと責任を持って表明すべきです。

議案第17号

第18期町田市立図書館協議会委員の委嘱について

上記の議案を提出する。

2019年7月5日提出
町田市教育委員会
教育長 坂本 修一

(提案理由説明)

本件は、2019年7月31日付けで第17期町田市立図書館協議会委員の任期が満了することに伴い、町田市立図書館協議会条例第2条及び第3条、町田市立図書館協議会条例施行規則第2条の規定に基づき、第18期委員として委嘱するものです。

なお、任期は2021年7月31日までです。

第18期町田市立図書館協議会委員名簿

選出区分	氏名	所属（役職名等）	任期等
学識経験を有する者	さわい ようすけ 澤井 陽介	国士舘大学 （体育学部 教授）	2019年8月1日～ 2021年7月31日
学識経験を有する者	まつもと なおき 松本 直樹	慶應義塾大学 （文学部 准教授）	2019年8月1日～ 2021年7月31日
学校教育の関係者	おざわ ともゆき 小澤 智幸	町田市公立小学校長会 （山崎小学校）	2019年8月1日～ 2021年7月31日
学校教育の関係者	いわた てつお 岩田 哲生	町田市公立中学校長会 （小山田中学校）	2019年8月1日～ 2021年7月31日
社会教育の関係者	しみず ようこ 清水 陽子	町田の図書館活動をすすめる会	2019年8月1日～ 2021年7月31日
社会教育の関係者	すずき まさよ 鈴木 真佐世	町田の図書館活動をすすめる会	2019年8月1日～ 2021年7月31日
社会教育の関係者	いしい きよみ 石井 清文	NPO法人 まちだ語り手の会	2019年8月1日～ 2021年7月31日
社会教育の関係者	よしだ かずお 吉田 和夫	社会教育委員	2019年8月1日～ 2021年7月31日
社会教育の関係者	こにし ひとみ 小西 ひとみ	町田音訳グループ・朗奉	2019年8月1日～ 2021年7月31日
家庭教育の向上に資する活動を行う者	わかいろ なおみ 若色 直美	NPO法人 子ども広場あそべこどもたち	2019年8月1日～ 2021年7月31日

中学校給食無料試食会事業について

1 事業の目的

2017年7月に実施した「中学校給食に関するアンケート」結果では、「給食が良い」「どちらかといえば給食が良い」という生徒が22.8%、保護者が56.2%でしたが、2018年度末の中学校給食の喫食率は10.4%であり、利用したい生徒が利用していない状況にあります。

市では、栄養バランスの取れた中学校給食を提供していますが、生徒自身が給食もしくは家庭弁当を選択できる環境を整えることが重要であると考えています。市の中学校給食においては、選択制の主旨から約半数の生徒が給食を利用している状況を目指し、2019年度末時点で喫食率30%を目標とします。

そのため、市立中学校19校に通う中学生を対象に「中学校給食無料試食会」を実施し、多くの生徒に実際に給食を食べてもらうとともに、試食会後のアンケートからの改善提案を参考に、給食を希望する生徒がより利用しやすくなるよう、さらなる環境づくりを進めます。

2 事業の内容

- ・市立中学校19校に在籍する中学生(約10,500人)に対し、1週間(5日間)無料で給食を提供します。
- ・試食後、全生徒にアンケートを実施し、中学生が考える改善に関する意見やアイデアを収集します。
- ・保護者を対象に無料試食会への参加を募り、試食後、改善に関する意見やアイデアを収集します。
- ・試食後に引き続き、給食を希望する生徒に対し、給食を2食分無料提供します。
- ・これまで給食を注文する際の払込票は、最少でも20食分(1ヶ月程度)でしたが、新たに5食分(1週間程度)を導入し、気軽に注文することができるようになります。

3 実施期間

2019年9月から2020年1月頃まで

4 スケジュール

年 月	2019						2020			
	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
市	PR パンフ 作成		無料試食会の実施 (周知、申込集計、業者調整)				アンケート 集計			
			給食2食分無料提供							
			少額で利用可能な払込票の導入							
学校	無料試食会 事前PR		無料試食会の実施							
生徒	無料試食会 事前PR		無料試食会の実施・試食後アンケート回答							
保護者	無料試食会 事前PR		中学校給食の無料試食、改善内容の検討、 市への提案							

自由民権資料館 2019 年度特別展
「町田の近代と青年」の開催について

1 開催趣旨

「青年」が若い人を表す言葉として使われるのは、明治10年代以降です。その「青年」という言葉に新たな概念を持たせる契機を作ったのは、旧来の日本を一新して新しい日本を建設する立志の青年という考え方を提示した徳富蘇峰です。明治20年代の町田市域でも大成会(町田村)や小山田青年会等の青年結社が組織され、演説・討論会を頻繁に開くなど活発に活動しています。日清戦争を機に国を下支えする存在としての期待が増した青年は、精神・道徳の修養に努め、あるべき理想の姿を追い求めています。また、明治後半に旧村単位で発足した青年会は、大正期に村単位にまとめられ、青年団と改称します。青年たちは、奉仕活動等で地域社会の一翼を担い、学習活動・運動会で心身を鍛えるなど、集団を通して自己を形成していきました。

本展では、明治初年から戦後まで社会が大きく変化し続けた日本の近代において、町田市域の人のびが多感な青年期に何を考え、訴え、行動したのかを紹介します。

*本展の準備に際して、当館主催の講座を卒業された方々に史料解説作業や聞き取り調査などを進めていただき、その成果も盛り込んだ展示となっています。

2 開催期間：7月13日(土)～9月29日(日)

3 休館日：月曜日(祝日の場合は翌日休館)

4 会場：町田市立自由民権資料館企画展示室

5 広報：『広報まちだ』7月1日号、『生涯学習 NAVI』夏号、HP、ポスター・チラシ

6 関連事業：【講演会】 定員50名、当日先着順

① 日時：7月27日(土) 午後2時～4時

演題：「自由民権運動と〈青年〉」

講師：和崎光太郎氏(浜松学院大学短期大学部専任講師)

② 日時：8月31日(土) 午後2時～4時

演題：「大衆消費社会の到来に対峙する農村青年

—1920-30年代の鶴川小学校『同窓会雑誌』を手がかりとして—

講師：上田誠二氏(横浜高等教育専門学校専任講師)

③ 日時：9月21日(土) 午後2時～4時

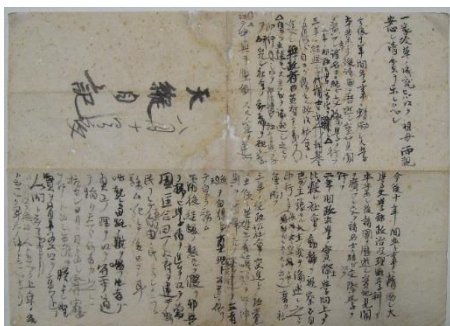
演題：「鶴川における青年の活動と意識」

講師：中溝正治氏(元町田市立鶴川中学校校長)

【ギャラリートーク】

講師：自由民権資料館学芸担当

日時：7月20日、8月3日・17日、9月14日・28日、全て土曜日、午後2時～3時



石坂公歴の「天縦自記」
(川崎市麻生区・西城英一郎家)



「小野路青年会第一回一夜講習会記念」
(小野路町・細野利平家)



能ヶ谷青年団・凌霄会の楽隊
の太鼓(能ヶ谷神社)

町田の近代と



大正期頃の能ヶ谷青年団・凌霄會（能ヶ谷 神蔵喜代勝氏）

青年

2019年7月13日(土)～9月29日(日)

【講演会】

定員：50名、当日先着順（13時30分受付開始）
会場：自由民権資料館閲覧室

①演題：「自由民権運動と〈青年〉」

日時：7月27日（土）14時～16時

講師：和崎光太郎氏

（浜松学院大学短期大学部専任講師）

②演題：「大衆消費社会の到来に対峙する農村青年

—1920-30年代の鶴川小学校『同窓会雑誌』
を手がかりとして」

日時：8月31日（土）14時～16時

講師：上田誠二氏（横浜高等教育専門学校専任講師）

③演題：「鶴川における青年の活動と意識」

日時：9月21日（土）14時～16時

講師：中溝正治氏（元町田市立鶴川中学校校長）

【ギャラリートーク】 申込不要

日時：7月20日、8月3日、8月17日
9月14日、9月28日

いずれも土曜日、14:00～（1時間程度）

入館
無料

町田市立自由民権資料館

〒195-0063 町田市野津田町 897 番地
TEL 042-734-4508

開館時間 9:00～16:30

休館日 月曜日
（休日の場合は翌日）

交通

【鶴川駅】0番バス乗り場より
野津田車庫行・本町田経由町田
駅行で「綾部入口」下車

【町田駅】小田急北口21番バス
乗り場より本町田経由野津田車
庫行・本町田経由鶴川駅行で「袋
橋」下車

自由民権資料館案内図



「町田の近代と青年」

開催にあたって

現在使われている「青年」という言葉には、夢や希望に満ちあふれた青春期の男女という概念が含まれています。ところが、この概念は歴史的には一般的ではなく、明治初年までは子どもと大人の間にある年齢の若い者という意味で「若者」や「若衆」という言葉が広く使われてきました。これらに代わり「青年」が若い人を表す言葉として使われるようになるのは、明治 10 年代以降です。

その「青年」という言葉に新たな概念を持たせる契機を作ったのは、徳富蘇峰だと言われています。1887（明治 20）年に民友社から刊行した『国民之友』誌上において、旧来の日本を一新して新しい日本を建設する立志の青年という概念を創出し、瞬く間に注目されるようになりました。町田市域でも、町田村の大成会や忠生村の小山田青年会などの青年結社が続々と組織され、活発な活動をしています。そこでは演説や討論が頻繁に実施され、各自が身を置く地域の現実的課題と真剣に向き合う姿を見出すことができます。

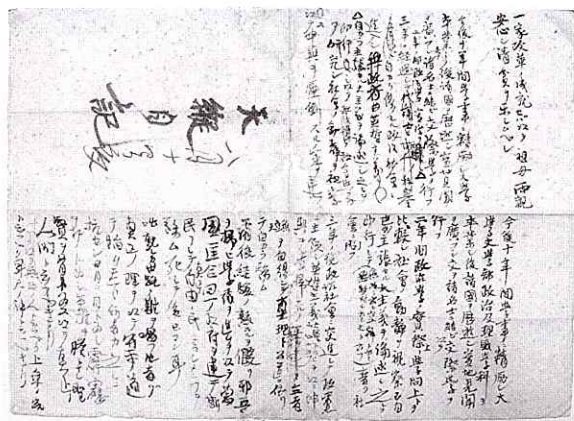
その後、日清戦争を経たころの若者たちは、将来国家の一成員となるべく、国を下支えする青年として期待されるようになっていきます。政府の指導もあり、青年は精神や道徳の修養に努め、あるべき理想の姿を追い求めました。一方で、脱落するものも多く、明治後期から昭和 10 年代にかけて刊行された文芸誌などには、挫折した者の煩悶や厭世観が如実に読み取れるようになります。

また、明治期に旧村単位で発足した市域の青年会は、大正期になると市町村単位でまとめられ、青年団と改称して第二次大戦後まで活動を続けています。青年たちは、奉仕活動を行うことで地域社会の一翼を担い、学習活動や運動会で心身を鍛錬し、集団を通して自己を形成していきました。

本展では、明治初年から戦後まで社会が大きく変化し続けた日本の近代において、町田市域の人びとが多感な青年期に何を考え、訴え、行動したのかを紹介します。



堺村青年団が建てた道標
(相原保善会)



将来の展望を記した石阪公歴の「天縦自記」
(川崎市麻生区・西城英一郎家)



小野路青年会第一回一夜講習会記念写真
(小野路町・細野利平家)



忠生吟社第二回俳句会記念写真
(当館「下小山田町・若林宏宣家」)



能ヶ谷青年団・凌霄会の楽隊の太鼓
(能ヶ谷神社)

「平和祈念事業」の開催について

1 趣 旨

生涯学習センターでは、毎年8月の第1週頃に「夏の平和イベント」と称して平和祈念事業を実施しています。当時を語れる方々は高齢化し、継承が年々難しくなっています。町田および日本が経験してきたアジア・太平洋戦争の記憶を振り返るとともに、現代における平和のあり方を考える機会とするため開催します。

今回は、「戦争を知らない世代が次の世代へ継承していく方法を探る」をテーマとして、企画展の開催や戦争体験者と非体験者とをつなぐ活動をしている『ヒロシマ「 」継ぐ展実行委員会』（以下「継ぐ展実行委員会」）と共催して「子どもも学べる平和イベント」として開催します。継ぐ展実行委員会は2015年から東京在住の30代が中心となって若い世代や親子連れに向けた平和学習の場所作りを行っており、広島・横浜・仙台・世田谷で《「第三世代が考えるヒロシマ「 」継ぐ展」》を開催しています。

生涯学習センターの企画と継ぐ展実行委員会の企画を融合して実施することで、多様な視点で企画した催しを数多く開催し、より幅広い層にアピールしていきます。

2 日 時

2019年7月20日（土）14時～16時30分（プレイベント①）

8月 3日（土）14時～15時 （プレイベント②）

8月 5日（月）～8月9日（金）

*開始及び終了時間は催しにより異なるため、次ページ以降に詳細を記載

3 会 場

町田市生涯学習センター 6・7階
(町田市原町田6-8-1町田センタービル内)

4 内 容

プレイベント①

講演・座談会「平和づくりを現場から発信する」（7階ホール）
町田市出身の東大作上智大学教授による講演。
日本人の私たちが世界の平和とどう繋がっているのか、
平和づくりに参加していけるかについて一緒に考えます。



プレイベント②

「サマーコンサート」（7階ホール）

「みんなでひとつになって歌い平和に生きよう」を
理念に活動しているサニーサイドゴスペルクラブ町田
によるコンサートです。



期間中、毎日開催（*は「継ぐ展」企画）

戦時資料展示	戦時中使っていた道具や写真を展示。	8時30分～17時	6階 視聴覚室
昔遊び	戦時中遊ばれていたけん玉やお手玉などで遊ぶコーナー。	8時30分～17時	6階 視聴覚室
絵手紙、「1枚のハガキ」	市内の子どもたちが描いた平和の絵手紙、市民の方からの戦時中の体験の「1枚のハガキ」の展示。	8時30分～22時	6階廊下
*「絵で読む広島原爆」原画展	「絵で読む広島原爆」那須正幹（文）西村繁男（絵）の原画展示	10時～19時	7階 プレイルーム
*広島原爆被爆関連資料等の展示	被爆石材、広島原爆資料パネル、広島原爆資料パネル、ヒロシマの記憶を継ぐ人インタビュー展示、被爆建物から見るヒロシマ写真展、あなたができる平和へのアクション、とうろうに込めるメッセージ	10時～19時	7階 音楽室・ホワイエ
*自由研究サポート教室	「平和」をテーマに夏休みの自由研究をつくるワークショップ。	10時30分～12時30分 14時～16時	7階 ホワイエ
*広島平和記念公園の地図を作るスタンプラリー	消しゴムはんこで作られた原爆ドームや慰霊碑等のスタンプを台紙に押しつけての平和記念公園マップ作り。	10時～19時	6・7階
*広島を学びながらのバッグや巾着袋づくり	折り鶴、キョウチクトウ、とうろう流しといった広島に関連する消しゴムはんこを押しつけて、その意味を学びながらのバッグ・巾着袋を作る。	10時～19時	7階 ホワイエ
*平和への願いを絵手紙に込めよう	どうして戦争は起こるのか？起こさせないためには？2つの疑問への考えをこめての絵手紙作り。	10時～19時	7階 ホワイエ

期間中のイベント（*は「継ぐ展」企画）

こどもクッキング	戦争中に食べられていたすいとんを作り、食後はお話、ゲームを楽しむ。	8月5日（月） 10時30分～14時	6階 調理実習室
プロ棋士から学ぼう！夏休み将棋講座	小中学生対象のプロ棋士から学ぶ初心者向けの講座、経験者用の対局コーナー。	8月5日（月） 10時～12時 14時～16時	7階 ホール
平和の ^{ともしび} 灯～ピースキャンドルを作ろう！～	パラフィンろうを使用し、牛乳パックでピースキャンドルを作る。	8月6日（火） 10時～12時	6階 調理実習室
*被爆アオギリの木のお話を聞いてチョークで葉を描こう	広島平和記念公園に奇跡的に再生した被爆アオギリの木を題材にした絵本「アオギリのねがい」の話を聞いたあと、チョークで平和の木を描く。	8月6日（火） 10時30分～11時 15時30分～16時	7階 ホワイエ

語り部 神戸美和子 さんのお話を聞こう	町田市在住の神戸さんから広島での原爆被爆体験の話を伺う。	8月6日(火) 14時～15時	7階 ホール
ドキュメンタリー映画「南の島の大統領ー沈みゆくモルディブー」上映会	地球温暖化の影響で国土水没の危機に瀕しているモルディブ共和国の大統領が気候変動を食い止めるため、世界で奮闘する姿を描いた映画。	8月7日(水) 9時30分～12時 14時～16時30分	7階 ホール
食から広島を学ぼう 親子 de クッキング	戦前から庶民の味として親しまれ、広島戦後復興を担ってきたといえるお好み焼きを作る。	8月7日(水) 10時30分～ 11時30分	6階 調理実習室
昔遊びスペシャルタイム	常設の昔遊びコーナーで、戦争体験者である世代が遊んでいた遊びを紹介。	8月7日(水) 12時～14時	6階 視聴覚室
親子ITプログラミング	小学4～6年生とその保護者を対象に2020年から導入されるプログラミング教育に先駆け、その仕組みを親子で体験する。	①7月31日(水) 14時～15時30分 ②8月7日(水) 14時～16時30分	6階 学習室1・2
*シンポジウム「戦争体験の継承とはーわたしの「」継ぐー」	若い世代が戦争体験の継承について考えるシンポジウム。	8月7日(水) 16時30分～ 17時30分	7階 ホワイエ
戦争や平和を考える アニメ映画上映	アニメ「はだしのゲン」を上映。	8月8日(木) 10時～11時45分 14時～15時45分	6階 学習室1・2
*被爆体験伝承者 榎原泰一さんとお話を しよう	広島市被爆伝承者養成事業1期生の榎原さんから広島での原爆被害や伝承者への応募のきっかけなどの話を伺う。	①8月8日(木) 14時～15時 ②8月9日(金) 10時～11時 13時30分～ 14時30分	7階 ホワイエ
ことばのオリンピック ～世界の言葉で話そう 遊ぼう～	ゲームをしたり、音楽に合わせて身体を動かしながら、親子で国際交流をする。	8月9日(金) 10時～11時30分	7階 ホール
語り部 松山正義さん とお話を聞き、長崎の 原爆被害の実際について 考えよう	町田市在住の松山さんから長崎での原爆被爆体験の話を伺う。後半は長崎大学核兵器廃絶研究センター客員研究員の桐谷多恵子さんから長崎の被爆と復興についての講演。	8月9日(金) 14時30分～ 16時30分	7階 ホール

5 周知

- ・広報まちだ 6月15日/7月1日号(プレイベント)、7月15日号
- ・ホームページ
- ・「子どもフェア」
- ・ポスター・チラシ(町内会掲示板、市民センター・図書館等公共施設)
- ・マスコミ(ミニコミ誌等)

6 その他（昨年度の様子）

期間：2018年7月22・29日、8月3日～8月9日

〔延べ参加者人数〕 1499人



「若者と未来の平和を考える」講師と大学生の座談会



缶バッジ、昔遊びコーナーの様子



親子でクッキングの様子

「POPコンテストまちだ 2019」の開催について

町田市立図書館では、小学4年生から18歳までの方を対象に、読書に親しみ、図書館に足を運んでもらうきっかけを作ることを目的に「POPコンテストまちだ 2019 ～本を読んでみたら、意外といいことがあった～」を開催します。

本コンテストは、人におすすめしたい本の魅力を考え、POP(※)に書いて紹介することで、小中高校生に本や図書館への親しみを深めてもらう企画です。

また、本を読むきっかけづくりの一つとして、市内在住の絵本作家・イラストレーターの中垣ゆたか氏がチラシのデザインを担当しています。

応募作品のうち、特に優秀な作品は表彰し、図書館特設コーナーに展示します。

※ POP(point of purchase):本の紹介カード

■ 募集期間

7月12日(金)～9月29日(日)

■ 対象

小学校4年生から18歳までの方

■ 応募方法

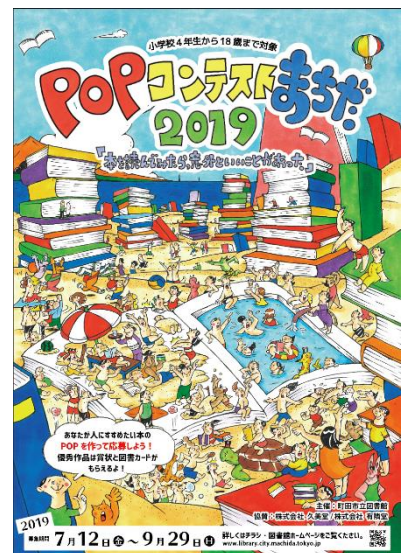
- ① 人におすすめしたい本のPOPを作成する。
- ② 市立図書館全館(文学館を含む)のカウンターで、応募用紙に記入の上、作成したPOPを提出する。

■ 選考方法

図書館職員による第1次審査の後、図書館長等による第2次審査を行い、グランプリ及び、優秀賞を決定する(15作品程度)。

■ 表彰式

グランプリ、優秀賞の受賞者には、10月19日(土)の表彰式で、賞状と副賞(図書カード)を贈呈。



中垣ゆたか氏デザインのチラシ

＜中垣 ゆたか氏プロフィール＞

市内在住の絵本作家・イラストレーター。絵本に『ぎょうれつ』(偕成社)、『なんじゃこりゃ! まつり』(ひさかたチャイルド)などがあり、ブログにて4コマ漫画「町田家、あさって、しあさって。」を毎日更新中。

小学校4年生から18歳まで対象

POPコンテストあぢだ 2019

「本を読んでもたら、意外といいことがある。」

あなたが人にすすめたい本の
POPを作って応募しよう！
優秀作品は賞状と図書カードが
もらえるよ！

主催：町田市立図書館

協賛：株式会社 久美堂 / 株式会社 有隣堂

2019

募集期間

7月12日(金)～9月29日(日)

詳しくはチラシ・図書館ホームページをご覧ください。
www.library.city.machida.tokyo.jp



POPコンテストまちだ 2019

「おもしろい本をさがして、それを紹介しよう」

本屋さんなどで見かける
イチオシの本を紹介している
カードのことだよ！

POPって
なあに？

POPをつくって
いいこと
たくさん
あるよ

募集期間 2019年7月12日(金)～2019年9月29日(日)

応募資格 小学校4年生から18歳まで
※図書館の利用券をお持ちでない方は、利用登録が必要です。

応募方法 町田市立図書館全館(文学館を含む)のカウンターで
応募用紙をご記入の上、POPを提出してください。

POP規格 [画材] 自由
[用紙] 図書館で配布する専用用紙
もしくは、官製ハガキ程度の大きさ(100mm×148mm)と厚みのあるもの。

応募方法



応募に
あたっての
留意事項



- ▶ 応募者のオリジナル作品(未発表)であること。
- ▶ 表紙、帯、挿絵や既存のキャラクターなど著作権を侵害する恐れのあるイラスト、文章などは使用しないでください。
- ▶ 応募作品の著作権、所有権は町田市立図書館に帰属します。
- ▶ 応募作品は返却しません。
- ▶ 応募数の上限はありませんが、審査対象はお1人様1点のみになります。
- ▶ 応募作品は、図書館ホームページや特設コーナーに掲示、活用いたします。

応募されたPOPのうち特に優秀な作品は表彰し、展示する予定です。

審査

第1次審査
各図書館職員による審査

第2次審査
審査員による審査

審査基準

- ①文章とイラストのバランス
- ②その本の魅力が伝わるか

各賞

👑 グランプリ ▶▶ [副賞] 図書カード3000円分
👑 優 秀 賞 ▶▶ [副賞] 図書カード1000円分

※入賞は15作品程度です。

表彰

入賞者には、10月19日(土)の表彰式で、賞状と副賞を贈呈します。

各賞の
選考に
ついて



イラスト・中垣ゆたか(絵本作家・イラストレーター)

東京都町田市在住。帝京大学経済学部卒業。
絵本に『ぎよれつ』(集英社)『なんじゃこりや!まつり』
(ひさかたチャイルド)などがある。ブログにて4コマ漫画
「町田家、あさって、しあさって。」を毎日更新中。
www.nakagakiyutaka.com/

📖 僕が本を読んでよかったなあと思ったこと

僕の仕事は気楽だとよく言われる。通勤もないし、基本は家で仕事をしているので、家族以外とほとんど喋らない。こんな生活でいいのかなど不安になる。そんな時、村上春樹著の『職業としての小説家』を読んだ。なんと！仕事のタイムスケジュール、運動の取り入れ方が僕に似ている！世界の春樹氏と勝手に親近感 & 仕事の仕方に少し自信がったこと。勘違いでも嬉しかった。

お問い合わせ

町田市立中央図書館
東京都町田市原町田3-2-9

TEL 042-728-8220
www.library.city.machida.tokyo.jp

アカウント名 @machida_library
ハッシュタグ #POPコンテストまちだ

Twitter



大日本タイポ組合展
「文ッ字－いつもの文字もちょッと違って見えるかも－」
の実施報告について

- 1 開催期間：2019年4月20日（土）～6月30日（日）
- 2 観覧者数：12,790人／62日間（2018年度春：3,270人／49日間）
※総観覧者数：2018年比391.1%、1日平均観覧者数：2018年比309.3%

3 開催報告

本展は中高生から20歳代の若い世代を対象とした展覧会です。

「ことばらんど」の名称にちなみ、『文字』と『文学』の間をデザインする」をテーマに、大日本タイポ組合のお二人に依頼し展覧会が実現しました。

お客様の年代、好み、観覧傾向を考慮しながら、面白く、楽しく、ポップな色使いの作品を選定し、新作を含む約100点を展示しました。また、SNS世代に対応し会場内の写真撮影を可としたほか、体験したり、触って遊ぶことができる作品を用意して、展示会場に足を運ぶことではじめて得られる魅力や経験を重視しました。

初日から10代・20代を中心に多くのお客様が訪れ、開館以来2番目の観覧者数を記録しました。

4 関連イベント

- (1) オープニングイベント「Match DA 文ッ字」 49人
- (2) 文ッ字フリマ 1,015人
- (3) オリ字ナルブックカバーをつくろう！ 20人
- (4) 正木香子講演会「文字のチカラ～『文学×書体』味くらべ～」 49人
- (5) 大原大次郎×大日本タイポ組合「大大&大文ッ字タイポ話合」 72人
- (6) 円城塔×大日本タイポ組合「文ッ字渦～文字の想像と創造～」 81人
- (7) 活字を組み合わせて、名前入りポストカードをつくろう！ 10人
- (8) 展示解説(ギャラリートーク) 121人(全5回)
- (9) 解き文ッ字 1,326人
- (10) オリ字ナル文ッ字コンテスト 応募：48作品

(1) 成功の要因

① ターゲットの明確化

高校・専門学校・大学で美術(デザイン)を学ぶ学生、または美術やデザインが好きな10代・20代にターゲットを絞り、展示作品、関連イベント、広報手段などを検討しました。

② アーティストの協力

企画段階から、大日本タイポ組合の二人に、開催趣旨やターゲットを説明し、展示、関連イベントの内容について一緒に検討して貰いました。また、大日本タイポ組合の知名度やネットワークを利用して、関連イベントの参加者募集や展覧会告知をして頂いたほか、会期中も何回も文学館に足を運んで頂きました。

③ 文ッ字フリマの開催

これまでの傾向から、講演会やワークショップを企画しても若年層の参加は少ないことが想定されました。そのため、大日本タイポ組合と協議を重ね、文字への興味・関心を高め、若年層が楽しみながら交流できる場となり、結果として文学館通りの“賑わい創出”に繋がることを目指し、タイポグラフィアーティストを集めたフリーマーケットを開催しました。

● 参加アーティスト：46組 来場者：1,015人

④ 団体観覧者の獲得

大日本タイポ組合展はスタートから比較的早い段階で、女子美術大学のデザイン専攻の先生から団体観覧のお問い合わせを頂きました。そこで、町田市内および近郊の美術系大学、専門学校、美術専攻のある大学の先生(非常勤講師を含む)を全てリストアップし団体見学のご案内を個別送付しました。

● 団体観覧：14団体 (361人)

(学童保育・中学校・専門学校・大学・FM群馬・アート愛好団体・老人福祉施設)

⑤ SNS等を活用した広報とインフルエンサーの獲得

これまでの経験から若年層をターゲットにした際、公共施設での出張展示、チラシの配布、広報まちだへの情報掲載などは、殆ど意味を成さないことは分かっていました。そこで、これまでの広報に加えて、公式 twitter、公式 HP による情報発信、TSUTAYA 町田木曽店での出張展示、インフルエンサーの獲得に注力しました。

● 4~6月の公式 twitter：フォロワー増加数 144、いいね数 1,343、リツイート数 805、twitterでの情報拡散事象

※インフルエンサー：SNS上で数千人以上のフォロワーを持ち、その言動がフォロワーに大きな影響を与える人



(2) アンケートから見た観覧者傾向

年代は20代が最も多く(25.8%)、10代は(13.2%)でした。本展のターゲットとして設定した10代・20代が全体の39.0%を占めており、企画側の狙い通りの観覧者傾向となりました。また、展覧会の満足度も大変満足が76.4%と大変高いものでした。

(3) 課題

「今回の成功の要因をどのように分析・採用すると、次の企画展や、広報活動、集客に活かすことができるのか」という方法論がまだ確立できていないことが最も大きな課題です。

